

社会科 小学校第4学年カリキュラム

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 □実践例、◆課題
4	オリエンテーション	(4) ア	1					
	安全な暮らしとまちづくり 1 事件・事故のないまちをめざして		10					
5	2 火事を防ぎ、地震にそなえる 安全なまちをめざして、地いきの人たちにてい案しよう		9 2					
6	健康な暮らしとまちづくり 1 ごみはどこへ	(3) ア	7			廃棄物を資源として活用していることもおさえる。	小学校第5学年 「環境を守る人々」	
7	2 水はどこから	イ	7			水資源と環境保護を関連づけて進める。		
8	昔から今へと続くまちづくり オリエンテーション 1 鹿妻穴堰の開発	(5) ウ	1 8		小学校第3学年 「さぐってみよう 昔の暮らし」		中学校第1学年	
9	2 鉄をつくる大島高任 3 きょうどのためにつくした人々		6					
10	わたしたちの県のまちづくり オリエンテーション 1 県ぜんたいの様子	(6) ア イ ウ エ	2 6 (+1)	日本及び岩手県の地理的位置を意識させるために、47都道府県の名称と位置に関心を持たせるようにすることが必要である。 資料から必要な情報を読み取るために、地図(地形図・土地利用図)や具体的資料の活用が必要である。		47都道府県の名称と位置の指導の仕方を工夫しながら進める。 地図帳の活用の仕方について、理解させる。		◆日本のどの位置に、どの県が所在しているのか、地理的位置や地方区分(地方名)と関連づけて把握できていない傾向がある。
11	2 県のさまざまな地いきの様子	(6) ウ	14			自然環境・伝統や文化等地域の資源を保護活用している地域を取り上げながら進める。	小学校第5学年 「わたしたちのくらしと国土」	
12	イラストマップを作ろう						中学校第1学年 「地域の規模に応じた調査」	
1	3 県とほかの地いきとのつながり	(6) エ	6					
2	・選んで調べよう〇〇のまちづくり	(6) ウ	6					
3	・県の紹介パンフレットをつくろう ・ほかの都道府県とくらべてみよう	(6) イ ウ エ	5					
	合計		90					

